

BE WILD

2008.9

ボーイスカウト阿見第1団
<http://www.bs-ami.net>



● 新キャンプ場ができて初めての入隊・上進式が9月27日に行われました。

● 新年度を迎えて

(ボーイスカウトの年度：2008.9～2009.8)

この8月で19年度も無事に終わり、いよいよ20年度を迎えました。育成会から運営を任せられた団委員会の代表としてご挨拶させていただきます。

17年度に6代目の団委員長に就任以来、この20年度で4年目になります。振り返れば、17年度には日本ジャンボリー（大会本部スタッフで参加）、18年度には団創立40周年式典、19年度にはビーバー・カブラリー（大会本部スタッフで参加）と、イベントを通じてスカウト育成に必要な運営面でのネットワークづくりと知見の獲得に努めました。また、17年度に町有地を借り団キャンプ場エリア67の開拓・整備が開始され、スカウトにとってより良い環境作りという大きな責務を抱え、思えば荷が重い3年間でした。

そして、今年度21年8月に県キャ

ンポリー（BS部門の4年毎に開催される大会）が予定されており、またまた荷が重い？1年間になりそうです。

さて、20年度の団の活動では、エリア67に3つ目の倉庫作成（骨組みは完成）と、団本部になるスカウトハウスの作成を予定しており、育成会の皆様の協力を戴きながら、整備を進めていきたいと思っています。来年の1月10日～12日には、草津温泉でのスキー訓練を予定しています。春以降には、エリア67整備を進行しながら、よりよいスカウトの成長を支援していくために、育成会員向けのスカウト運動をより理解するためのスカウト技能等の楽しい講習会も実施していく予定です。是非ご参加ください。

最後になりましたが、スカウトが幅広い知識と技能を活かし、思いやりの

心とリーダーシップで、地域社会や職場で積極的に活躍できるよう成長を促していくために、充実した団・隊活動ができるよう、保護者の皆様の協力して、指導者各位とともに全身全霊で臨みたいと思っています。

本年度もいろいろとお願いすると思います。スカウトの健全な育成のためによりしくお願い申し上げます。

団委員長 若泉徳士



▲国連難民高等弁務官事務所へ難民募金を届けたときのスナップ。

阿見第1団の9月のトピック

● 阿見ロータリークラブ・阿見ライオンズクラブから助成金をいただきました。

今年も入隊上進式のあとの「カントリー大作戦」に阿見ロータリークラブの方々が参加され、スカウトと共に阿見ふれあいの森周辺の清掃・環境美化をともしに行いました。

また、阿見ライオンズクラブと阿見

ロータリークラブからは、毎年新年度のこの時期に活動助成金をいただいております。助成金は、阿見第1団のスカウト教育活動及び運営の資金として大切に活用させていただいております。ありがとうございました。



BVS 隊の9月の活動

● ビーバースカウト隊

幼稚園年長～小2：8月

● ありがとう みんなの仲間

9月27日



今年は、7名のビッグビーバーがカブ隊に上進しました。

今まで楽しく仲良く、そしてビーバー

たちのめんどもきちんとして活動できましたね。これからもカブ隊でがんばってください。

また、新しく5名のスカウトが入隊しました。初めての活動であったので、まだまだ緊張していたようです。「ビーバースカウトのやくそく」も、みんなの前で少し恥ずかしかったと思いますが、間違いなくしっかりとできました。このビーバースカウトのやくそくを守り、これからもワクワク、ドキドキす

るような活動をしていきましょう。

入隊・上進式の後には、カントリー大作戦で缶やゴミを拾いました。

キャンプ場の近くのゴミをみんなで競争しながら拾っていました。とても楽しそうでした。

これからもビーバー隊10名、みんなとなかよく、げんきにあそび、ものをたいせつにし、よいことをして、楽しいビーバー活動をしていきましょう。休まずに参加してくださいね。

CS 隊の9月の活動

● カブスカウト隊

小2：9月～小5：8月

● 今年はもっともっと楽しい活動にするぞう!!!

9月27日



9月27日、今日は入隊上進式、カブ隊の新しい1年がはじまります。

まず杉澤隊長から新しい4つの組の仲間が発表されました。組長・次長、デンリーダーの任命の後、デンリーダーから組長に組旗が渡されました。組長は、初めて持つ組旗に緊張しつつも、自覚と責任も芽生えたようでいい顔つきになりました。彼らがこれからどのように成長していくのか、とても楽し

みです。

さらにビーバー隊からの上進者はカブのやくそくをしっかりとと言い、世界のカブ隊の新しい仲間となりました。新しい仲間ももう一人、小西麻美副長補です。リーダーとしては1年生ですが、カブ隊も経験したスカウトの先輩です。数多くのスカウトのイベントでも活躍してきましたので色々話を聞いてみたいですね。

入隊上進式に引き続き、運動公園の中でカントリー大作戦をしました。ポイ捨てされた空き缶を拾うという全国でスカウトが行っている活動です。

阿見ふれあいの森の雑木林の中を歩いたら色々な生き物に出会いましたが、みんなは足が赤く羽の白い蛾を不思議そうに見ていました。そうそう、名前を覚えることよりも、まずは立ち止まってじっくりと観察するのがノーベル賞への近道？なのかもね。

【保護者のみなさんへ】

カブの活動ですが、スカウトたちは「組」を作って、それを中心に活動が展開されます。組を組織する意味は、組の仲間と互いに影響し合って、良いところは伸ばし、悪いところはそれに気づいて自分で直していける環境を与えること、年長者はリーダーシップを年少者はフォロアーシップを養って、協力して良い組にしていくこと（そしてその結果ゲームなどで勝つことができれば、ますます伸びていくと思います）、他にもありますが、スカウト達は組という小さな社会でルールと協力の仕方を学びます。そのため、少人数でみんながそれぞれの立場で主役としてそれに関わる様になっています。

ですので、1人でも休んでしまうとその効果がなくなってしまい、みんなの成長に影響が出てしまいます。極力休まずに参加してください。

BS 隊の 9 月の活動

●ボーイスカウト隊

小5：9月～中3：8月

そして2年後の

● 目指せ、県キャンポリー → 日本ジャンボリー 新年度活動開始!! 9月27日



9月29日、念願のキャンプ場での
上進式・入隊式が行われました。今年
の新入隊員は9名（上進8名、新入1
名）。みんなやや緊張した様子ながらも、
一人ひとりきちんと「ちかい」を立て
ることができました。

今年度は、3班編制で総勢26名の
大所帯になりました。班は各学年2名
の計8名が標準です。班の活動するに

は最低でもそれだけの人数が必要とい
うことですね。誰かが休めば、その分
の負担が他の班員にのしかかります。
中学生なると部活や塾で忙しくなると
思います。それは同時に、部活動の仲
間への責任、塾で知識を高める責任、
そして「ちかい」をたてたスカウト活
動に参加して「班」の仲間と共に助け
合い、互いにいろいろな能力を高め合
う責任など、将来に向かって、自分自
身の成長のための「責任」を考えて実
行していく年代になったということでも
あります。とても大切なことです。

いろいろな制約の中で、やるべきコ
トをするための時間を調整して、それ

ぞれ真剣に「今」取り組んで、かつ、
スカウト活動でめいっぱい楽しむ！
それがスカウトです。今すぐ実行に移
しましょう。その努力を始めましょう。
そしてみんなで班や隊を盛り上げ、楽
しい活動にして、8月の県キャンポリー
では「阿見1団ここにあり！」と思いつ
き活躍して、大いに目立とう！！



● グリーンバー訓練・隊集会 9月13日・14日

今年度最後の活動は、1年間の総仕
上げと新年度に向けた班の指導&活動
体制の構築です。

13日にグリーンバー（班長・次長
のこと。記章に緑の帯があることから
そう呼ばれる）の訓練を実施し、グリー
ンバーとして持つべき意識について隊

長から指導を受けました

翌14日は、隊集会として特に2級
に進級するためのハイキングを実施し
ました。スカウト1人ひとりが確実に
力をつけてきています。部活動との両
立は大変でしょうが、上手く調整して、
参加するよう努力してください。



▲進歩課目の考査は真剣です。

VS 隊の 9 月の活動

●ベンチャースカウト隊

中3：9月～高3：8月

● 真夏の大会の結果・・・？ 9月27日

9月27日。そう、まさに育成会総
会の真っ最中にベンチャー隊会議が実
施されました。

場所は、育成会総会会場。というよ
り隣の机。議題は、隊集会年間プロ
グラムの作成とベンチャープロジェクト
の立案。本来であれば、8月には出
来ていなければならないものがどう
いう訳か報告しなければいけない当日
に作っているという悲しい状態になっ
てしまいました。

結果的には何とか総会での報告には
間に合うというドキドキ状態ではあり
ましたが、何とか形にはなりました。
こんなことでドキドキはしたくない
のですが、まあ、隊長が隊長ですからね。
ぼちぼち、スカウトがしっかりし・・・

はじめているようです。

さて、今年は1名のスカウトが上進
してきました。彼の高校受験終了を待
ってフルパワーで活動できるよう、今
から準備します。何の？そう。それなん
です。今までで最大のプロジェクトに
挑戦しようというのです。

そう、今年のベンチャー隊のメイ
ンプロジェクトはなんと「スカウトハ
ウス建築に挑戦」なのです。実は、こ
れは阿見1団創設以来の夢でした。代
々常に話題には上ってはいいたの
ですが、誰も手を出さなかった、い
や、出せなかったプロジェクトな
のでした。今年は挑戦します。や
ります。その進行状況は逐一ベン
チャー隊ホームページで報告いた
しますので期待してください。

また、隊の枠を超えて阿見1団の保
護者の皆さんにお願いがあります。建
築のお手伝いをお願いしたいのです。
スカウトと汗を流してみたいという
方がいましたら是非ともご協力をお
願いします。別に専門的な知識は
ありません。ちょっとやってみよう
かの興味だけがあれば十分です。
ぜひ一緒にスカウトハウス作りを
楽しみませんか。



▲写真は、研修で保護者とハイキングを楽しむ
ローパスカウト。

● 羞恥心・いや、悲壮感・ちがう、そう“好奇心”だ!!



今年度は、5名のスカウトでスタートとなりました。今年は、全員が隊リーダーを兼務しています。出席率100%を目指して、積極的に活動に参加して、スカウトの先輩として、経験から学んだたくさんのコトを楽しく伝えてください。今年こそは、ローバー隊独自のプロジェクトに取り組みましょう！今年の合い言葉は“好奇心”です。

Scout Club の活動

● 総会報告・活動報告

阿見スカウトクラブは、阿見第1団及び茨城県連盟、茨城県連盟第5地区を支援しボーイスカウト運動に資すること、会員相互の親睦を目的に平成18年度に阿見第1団OBなど、会員数15名で発足をいたしました。

平成20年度総会は9月27日に会員7名出席のもと総会を行い、今年度は2名の方が新会員として入会しました。発足後、現在約1年2ヶ月を経過しましたが、今年度も活動方針として、阿見第1団への隊・団活動への支援と県連及び第5地区事業への支援協力を計画しています。これからも、会員全員がスカウトのため陰ながら頑張ってください。

「スカウトクラブ会員募集中」

・阿見スカウトクラブでは、現在成人会員を募集中です。阿見第1団育成会員の方、OBの方、入会待っています。

①入会は当阿見スカウトクラブの趣旨（規約）に賛同いただける方でしたらいつでも入会できます。

②入会に際しては、年会費を納入いただけます。（¥5,000/年）

③問い合わせ等は、スカウトクラブ事務局・浅野 までメール又は電話にて御連絡下さい。入会資料等をお送り致します。

◆メール sigeto55@y2.dion.ne.jp

◆電話 090-2758-5334

団委員会の 9 月の活動

● 総会・入隊上進式・倉庫建設・・・がんばってます

9月は、団委員会が最も忙しい時期です。今年も、育成会総会に向けて8月から動き出し、総会資料のとりまとめと印刷、上進・入隊式の連絡と準備、新入隊員の加盟登録などを行いました。また、指導者の人事も重要な団委員会の任務です。昨年の活動をふまえて、スカウトにより良い教育活動を提供するための指導者の人選と任命をしなくてはなりません。すべての指導者の皆さんは、スカウトが将来は立派な社会人に成長してほしいと願っている、情熱あふれるスカウトが大好きなボラン

ティアの方々です。それらの方々を力発揮でき、達成感が得られるように任命・委嘱しました。また旧キャンプ場の返還にあたって、団の装備品を収納する倉庫の建設が急務であるため、13日に指導者ととも第3倉庫の建設に着手しました。

そして27日、育成会総会、上進・入隊式を迎えました。

● 信じていたよ(^_^)v

「ちかい」の宣誓・・・。

保護者の皆さんは、どのような気持ちで眺められていたのでしょうか。当のスカウト本人はおそらく緊張の極みであった・・・と思います。

ベンチャー、ローバーのスカウトですら、声が震えるのです。私も24年前に「ちかい」をたてました。覚えているのは「ちかい」を言い終わった後に高田隊長から「よく言えたね。今、言ったことを忘れないようにがんばるように」と言われてカブのチーフからボーイのチーフに替わり感動したのを覚えています。（当時の阿見1団は、カブは黄色のチーフ、ボーイはえんじ色のチーフ、シニアは水色のチーフだったので。上進するとチーフの色も変わるので。）

私自身もボーイの隊長をやっていたときは上進・入隊したスカウト一人ひとりに小さな声で励ましの言葉をかけていました。案外、スカウトには忘れない出来事のようなのです。

さて、ベンチャー隊長として皆さんにぜひとも知っていただきたいことがあります。

入隊・上進のときベンチャースカウトが歌の指揮をしました。記憶にあるでしょう。リズム感のない指揮ではありません。しかし、隊長としては感無量でした。なぜなら、彼らは何の打ち合わせもなく、ましてや事前の耳打ちもなく、司会者の目配りだけで自発的に前に出て指揮をしたのです。不安だったでしょう。緊張したでしょう。しかし、リーダーでも中々出来ないことをやり遂げたのです。

こんなすばらしいことはありません。今回のボーイ隊の最高にすばらしい国旗掲揚に引けをとらないくらい、私にとっては、感動的な出来事でした。思わず目頭が熱くなりました。

皆様方から色々や意見を頂戴しましたが、声を大にして言いたいです。今年ベンチャー隊は、何かやります！

そんなことを予感する入隊・上進式でありました。